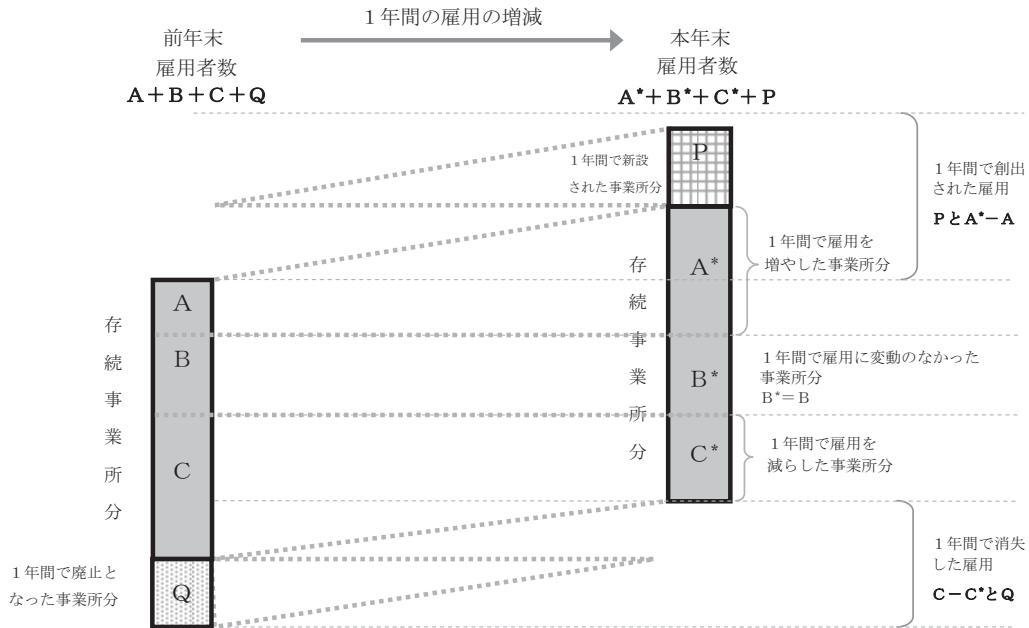


雇用動向調査による雇用創出・消失指標の試算

- 雇用動向調査等をもとにして雇用創出・消失指標を推計し公表することが、「公的統計の整備に関する基本的な計画」において求められたことから、雇用動向調査と雇用保険の適用事業所の新設・廃止に関する記録を用い、平成24年9月に公表。

概念図



ただし、

A : 1年間で雇用を増やした事業所の前年末雇用者数

B : 1年間で雇用に変動がなかった事業所の前年末雇用者数

C : 1年間で雇用を減らした事業所の前年末雇用者数

Q : 1年間で廃止となった事業所の前年末雇用者数

A^* : 1年間で雇用を増やした事業所の本年末雇用者数

B^* : 1年間で雇用に変動がなかった事業所の本年末雇用者数

C^* : 1年間で雇用を減らした事業所の本年末雇用者数

P : 1年間で新設された事業所の本年末雇用者数

(調査結果から)

(%)

区分	雇用創出率			うち新設雇用創出率		
	21年	22年	23年	21年	22年	23年
企業規模計	6.0	5.7	5.2	2.4	2.5	2.3
民営規模計	6.1	5.8	5.3	2.4	2.6	2.3
1000人以上	6.0	5.3	4.7	2.1	2.2	2.0
300～999人	6.2	5.0	5.2	2.3	2.3	2.0
100～299人	6.4	5.7	4.4	2.4	2.5	2.2
30～99人	6.1	5.9	5.2	2.3	2.6	2.1
5～29人	6.1	7.0	6.7	3.2	3.2	3.0
区分	雇用消失率			うち廃止雇用消失率		
	21年	22年	23年	21年	22年	23年
企業規模計	8.1	6.8	5.9	2.5	2.1	1.8
民営規模計	8.3	7.0	6.0	2.5	2.1	1.9
1000人以上	9.2	7.4	5.7	2.4	2.2	1.8
300～999人	8.3	7.8	6.0	2.5	2.1	1.9
100～299人	8.4	6.3	6.1	2.7	2.0	1.8
30～99人	8.5	6.4	6.3	2.6	2.0	1.8
5～29人	7.2	6.9	6.4	2.6	2.2	2.0

注:企業規模計には官公営を含む。

$$\text{雇用創出率} = \frac{\text{1年間で創出された雇用 } [A^* - A + P]}{\text{前年末雇用者数 } [A + B + C + Q]} \quad \text{雇用消失率} = \frac{\text{1年間で消失した雇用 } [C - C^* + Q]}{\text{前年末雇用者数 } [A + B + C + Q]}$$

$$\text{新設雇用創出率} = \frac{\text{新設に伴って創出された雇用 } [P]}{\text{前年末雇用者数 } [A + B + C + Q]}$$

$$\text{廃止雇用消失率} = \frac{\text{廃止に伴って消失した雇用 } [Q]}{\text{前年末雇用者数 } [A + B + C + Q]}$$